

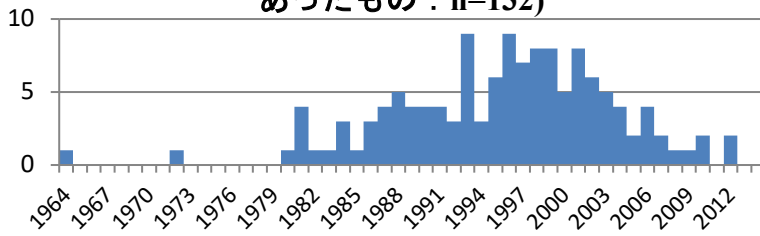
亜急性硬化性全脳炎(SSPE)の発生状況に関する研究

研究分担者: 国立感染症研究所感染症疫学センター 砂川富正

「診断基準・重症度分類策定・改訂のための疫学調査」

・ 特定疾患治療事業データの分析 (全国)

SSPE発症年 (2003年度以降にデータ入力があったもの: n=132)



本データベース (2016年5月時点) 以外の新規発症例に関する情報あり

↓
現在確認中

(右図: 結果は暫定)

沖縄県で流行時の推計麻疹患者数・SSPE発症者数:

1990年: 16,500人・9人

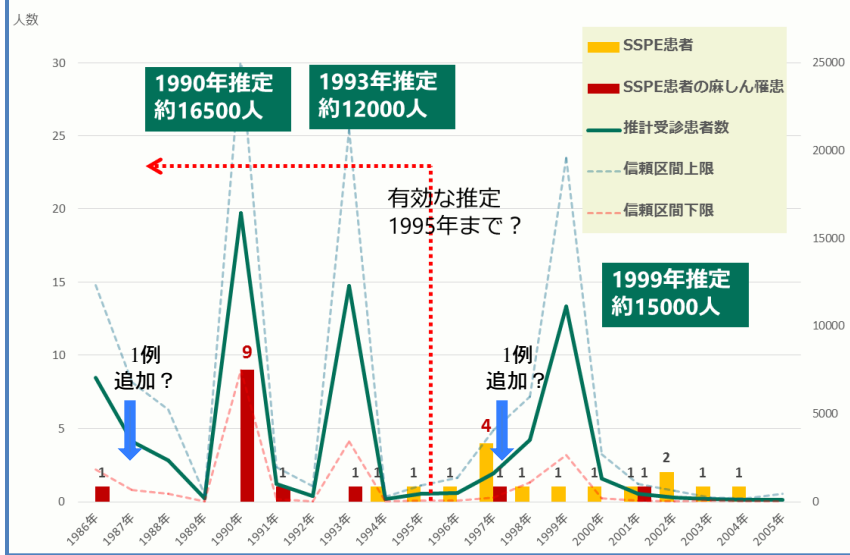
(10万人当たり**54.5**人)

・・・麻疹1,833人にSSPE1人の発症

1993年: 12,000人・1人

(10万人当たり**8.33**人)

・・・麻疹12,000人にSSPE1人の発症



解 説

1. SSPE患者発症について、特定疾患治療事業データでの監視継続以外に、他の情報源も含めた把握の実施・・・**麻疹排除以降も数十年に渡り継続的に観察する必要**
2. 沖縄県における麻疹患者からのSSPE発症割合の分析については、症例に関する情報収集の感度が保たれているかどうか、その検証方法について協議中。精査の上、**流行ごとの分析を実施し、流行ごとに発生頻度が異なる要因の分析も実施予定**